

・はじめに

ウェブシラバスの公開率は大学で 44.6%、短大で 15.4% - システム価格、効用、運用の問題

・汎用型とは

ソフトウェアの変更なしで、大学独自のウェブシラバスを設計し公開できる
基礎となる技術：シラバス記述言語 SML、多層分散検索エージェント

・オープンソース

公開ウェブ <http://powercampus.jp/top/crs>

検索システムの試用 <http://powercampus.jp:13130/searcher/search>

Java servlet による 5 つの C/S システムで構成（全体で 48,000 行）

システム構築・運用 (Repository)、データ作成・管理システム (Creator)、
検索・履修支援システム (Searcher)、ウェブ時間割 (Timetable)、
横断検索用リポジトリ (MetaRepository)

・導入・運用が容易

仮想化 OS のテンプレートファイルとして配布 (XenServer5.5 用)

シラバス構成と画面設計を GUI でおこない、数時間で稼働できる

運用後の設計変更も常に可能

仮想化により低コスト化。システムのバックアップとリストアも簡単かつ安全

・システム構築・運用システム (Repository)

GUI により SML 言語形式のシラバススキーマ (項目構成、各種画面など) を作成
シラバススキーマを Creator に送信し、作成されたシラバスデータを受信・蓄積
検索応答機能 (検索エージェント)

・データ作成・管理システム (Creator)

管理用ウェブシステム：データコンバート (CSV)、進捗管理、Repository へ送信

教員用ウェブシステム：ID でログインしシラバスデータを入力・作成

・検索・履修支援システム (Searcher)

利用者は目的に応じて複数の検索画面から使用する画面を選択

シラバスのどの項目でも個別に検索対象とできる

AND と NOT による絞り込み検索、

検索者による検索フォームのリアルタイム自由設計機能 (自由フォーム)

項目構成の異なる学部・大学のシラバスを一括横断検索。検索結果のダウンロード機能

大学間単位互換制度下でのシラバス検索に有効

履修支援機能

履修科目の選択・決定作業に特化した検索機能 (シラバス冊子を不要にできる可能性)

RDB を介する履修申請システムとのデータ交換 (システム拡張が可能)

・学生向け個人別ウェブ時間割システム (Timetable)

学生個人が履修する科目の時間割。多年度分を閲覧可能

シラバス参照、Moodle などの CMS や教員のウェブページへリンク可能